

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和8年3月6日

計画の名称	東京港における港湾防災機能の維持・強化（防災・安全）（重点）										重点計画の該当	○					
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）				交付対象		東京都										
計画の目標	臨港道路における緊急輸送道路の無電柱化等を実施し、耐震強化岸壁からの緊急物資輸送やコンテナ物流の停滞を回避する																
計画の成果目標(定量的指標)	無電柱化により、災害時に倒壊した電柱や切断された電線類による臨港道路の閉塞を回避する																
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
									当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)						
①	電柱倒壊などによる道路閉塞が回避される道路空間の割合＝（整備完了道路延長）／（整備対象道路延長）								11%	-	34%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,115百万円	A	2,115百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
A02-001	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	臨港道路の無電柱化	整備延長 L=5.6km	東京港						1,004	
A02-002	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁（-15m）（改良）大井ふ頭	防舷材更新	東京港・南部地区						480	
A02-003	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁（-11m）（改良）大井食品ふ頭	岸壁補修380m	東京港・南部地区						228	
A02-004	港湾	一般	東京都	直接	東京都	戦略	改良	岸壁（-15m）（改良）大井ふ頭	防舷材更新	東京港・南部地区						403	
											合計	2,115					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
事業担当局にて、事後評価を実施。 学識経験者（第三者）に対して、事後評価（案）について意見を求めた。		令和7年度	
		公表の方法	
		東京都港湾局ホームページ	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	臨港道路の無電柱化により、東京港の防災機能の強化や臨海部の魅力ある都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保が図られた。
------------------------------	--

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

○特記事項(今後の方針等)

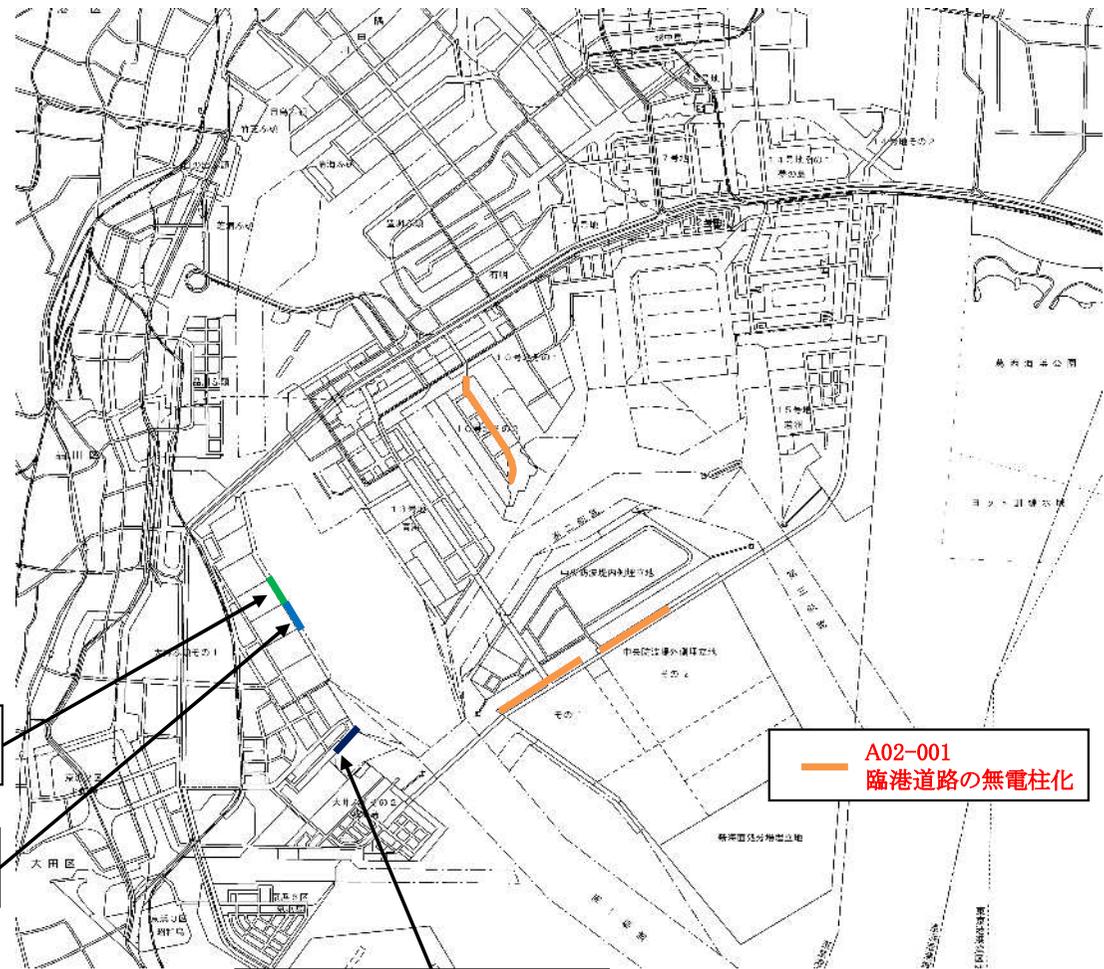
- 今後の方針**
 令和7年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き総合的に事業を推進していく。
 なお、本計画においては実績値が目標値に満たなかったものの、今後は、電線管理者等による工事の効率化及び工事の計画的かつ円滑な推進に重点を置き、東京港無電柱化協議会（事前調整会議）を実施するとともに、事業全体のスケジュールの最適化を図ることで、無電柱化事業の着実な推進に取り組んでいく。
- 第三者意見聴取**
 令和8年2月17日 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所長 河合 弘泰氏に対して、本件事後評価について意見を求めた。
 <意見>
 東京港の無電柱化は、地震、台風でも電柱・電線が緊急輸送道路を塞がず埠頭の施設に電力供給を続け、平時にも都市景観や歩行空間も整える、事業です。その整備率は、令和2年度初めに11%で、6年度末に34%を目指し、29%まで向上させることができました。共同溝は計画通りで、電線の敷設が少し遅れたことは残念ですが、昨今の技術者の不足、資材の高騰などの状況を踏まえると、止むを得ないものと考えます。無電柱化の必要性は今も変わらず、令和7年度以降も、工事の方法などを工夫し、少しでも早く整備率が向上することを期待しています。

○目標値の達成状況

指標① (無電柱化)	最終目標値	34%	目標値と実績値 に差が出た要因	電線共同溝の設置工事は予定通りの整備が出来たが、電線管理者等による入線や引込連系管工事などにおいて、近年の人手不足等により作業の進捗に遅延が生じたため。
	最終実績値	29%		
	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
	最終実績値			
	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
	最終実績値			
	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
	最終実績値			

計画の名称	東京港における港湾防災機能の維持・強化（防災・安全）（重点）		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）	交付対象	東京港

実施箇所



A02-002
岸壁(-15m)(改良)大井ふ頭

A02-004
岸壁(-15m)(改良)大井ふ頭

A02-003
岸壁(-11m)(改良)大井食品ふ頭

A02-001
臨港道路の無電柱化